



1. 研究主題

「学ぶ意欲を持ち、主体的・協働的に学習する生徒の育成」(2年次)  
 ～アクティブ・ラーニングを支える具体的な手立ての研究～

2. 主題設定の理由

本校では、今求められているアクティブ・ラーニングによる授業の質的改善を図ることで、生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を高める研究に取り組んでいる。アクティブ・ラーニングの指導方法は、生徒の発達や教科の特性、単元や学習場面等によって様々に存在する多様なものであるため、見た目の指導方法のみを改善するのではなく、むしろ、生徒の思考がアクティブに活性化し、一人一人の生徒が能動的に学習に取り組み、期待する資質・能力が育成されているかどうかを確かに検証していくことが大切であると言われている。

そのため、本校ではこれまで取り組んできた言語活動や学び合い活動などの教育実践はそのまま継続しながら、今年度は、さらに生徒の思考がアクティブになる効果的な指導方法の在り方や具体的な手立て探ることとした。そして、アクティブ・ラーニングによる授業の質的改善を図ることで、生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を高めることとした。また、生徒の一人一人の進路を実現するため、学習の定着を図る指導の工夫や徹底、学習習慣・家庭学習の改善を行い、生徒の基礎学力の向上を図りたいと考え、本主題を設定した。

3. 研究の目標

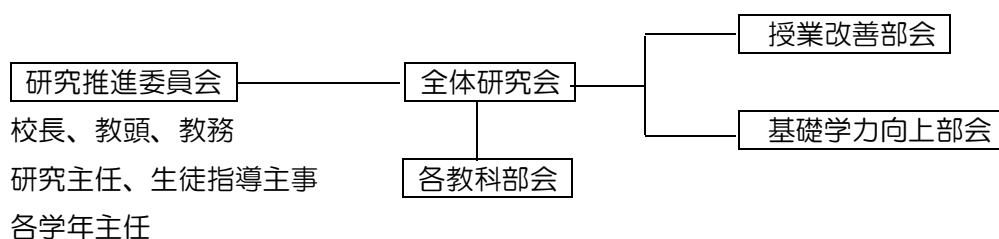
(1) 生徒が主体的・協働的に学習するアクティブ・ラーニングによる効果的な指導方法の在り方を研究する。アクティブ・ラーニングによる授業の具体的な手立てを計画・実施・検証しながら、生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を高めていく。(授業改善部会)

(2) 学習の定着を図る指導の工夫や徹底を図り、学習習慣・家庭学習の改善を行い、生徒の進路実現に向けた基礎学力の向上を図る。(基礎学力向上部会)

4. 研究の内容

- (1) アクティブ・ラーニングの理論研究
- (2) 各教科における主体的・協働的に学習するための効果的な指導方法や活動例の研究。また、学習の定着を図る指導方法や手立ての研究
- (3) 研究授業・授業研究会、学習状況調査等や各種アンケート調査による指導方法や指導実践の検証
- (4) 研究成果をもとにした授業の質的改善と基礎学力の向上

5. 研究組織



## 6. 研究計画のPDCA

1	5月	校内研究計画、各教科の年間指導計画作成	P
2	6月	全体研究会・部会① 各教科部会（各教科の実践計画作成） 全国・県学習状況調査の分析と活用	
3	7月	教科等における取組や実践	D
4	8月	全体研究会・部会② 各教科部会（各教科の実践計画の見直し）	
5	9月	授業の相互参観	
6	10月	研究授業・授業研究会（教育事務所訪問）	
7	11月		C
8	12月	12月調査	
9	1月	授業の相互参観 12月調査の分析と活用	
10	2月	全体研究会・部会③ 各教科部会（研究のまとめ） 研究のまとめと成果の検証	A

